

相談事例

ID： 02-03-037

相談タイトル

隣家建築に伴い発生した屋根のゆがみの補修について

Q：ご相談内容

住宅分譲地内。相談者宅の隣の家が新築工事を行っているが、先日、隣のプレハブ住宅の建て方工事が終了した後で、相談者宅の屋根がゆがんでいる状況が目視で確認できた。

隣家の建築をしている業者（ハウスメーカー）に、屋根がゆがんでしまっている旨伝えたところ、足場に取り付けてある養生シートが風によってばたつき、屋根を傷めてしまったとの話があった。ゆがんでしまったところを簡単に元に戻すような補修をするようであるが、その様な直し方で大丈夫なのか。養生シートが風でばたついて、屋根をゆがめてしまうようなことはあるのか聞きたい。

A：回答

養生シートが風でばたつき、そのことが原因で屋根がゆがんでしまうというのは、少し考えにくいことと思いますが、いずれにしてもゆがんでいる状況が事実であれば小屋裏等から確認する事なども含め、十分な調査をして貰い、被害の状況に応じた、補修方法の選択を行い対応してもらうことになると思います。「屋根材がゆがんでしまった」という事の状況が、屋根材の部分的な衝撃などによる「へこみ」「変形」なのか、屋根面全体としての「ゆがみ」なのか、その症状によっても補修方法は異なります。簡単な補修と言うことがどの様な措置となるかわかりませんが、いずれにしても補修に着手する前に、「屋根のゆがみ」の原因、状況、補修方法について十分な説明を求め対応するようにして下さい。